

むつ市立第二田名部小学校で公園ベンチをつくる「ものづくりワークショップ」を開催

令和3年6月29日(火)にむつ市立第二田名部小学校で「ものづくりワークショップ」を開催しました。今回のものづくりワークショップは、地域の小学校と連携して市内の公園に設置するベンチを製作して欲しいとの依頼がむつ市都市整備部都市計画課からあり、青森県立むつ高等技術専門校がむつ市立第二田名部小学校の6年生67名と一緒に「地材・地消 - ジオの恵み」むつ市の木である“ひば”で公園ベンチをつくらう！という企画で事業を実施しました。



事業のメインは、「公園のベンチづくり」でしたが、せっかくなので児童のみなさんも少しだけ「大工さん」になってもらおうということで、電動工具（インパクトドライバ）でビスを打ってベンチをつくる作業の他に、「かなな掛け体験」「のこぎりで角材を切る体験」「かなづち（玄能）で釘を打つ体験」をそれぞれのブースに分かれて体験していただきました。各ブースでは木造建築を学んでいる訓練生から作業のコツを聞きながら、作業する際の体勢や力の入れ方、うまく仕上げる方法を真剣な眼差しで説明を聞いて作業をしていました。



ものづくりを体験した児童のみなさんは、初めて触る大工道具に苦戦しながらも「かなな掛けは簡単そうに見えましたが、使ってみると意外と難しかったです」「緊張しながらのこぎりで角材を切りましたが、うまく切ることができました」などの感想があり、それぞれのブースで歓声をあげながら工程を楽しんでいました。

教える側の訓練生は「作業内容を小学生に分かりやすく説明することが難しかったのですが、楽しいと思えるよう明るく話すように心掛けました」「相手にうまく伝えることは難しいのですが、教えながら自分も学ぶことができました」という感想がありました。



とは難しいのですが、教えながら自分も学ぶことができました

むつ高等技術専門校のみなさんへ

6年1組 高田 莉央

6月29日の「ものづくりワークショップ」では、本当にお世話になりました。大工の体験をしたことが今までなくて、全部初めてのことでしたが、みなさんが優しくていねいに教えてくれたおかげで楽しく学ぶことができ、うれしかったです。この青森のひばを使ってベンチづくりをしたという思い出は一生心に残ります。これからも青森の素晴らしい大切な自然に目を向け、守り伝えていきたいです。こんな素晴らしい体験をさせてくださり、本当にありがとうございました。



製作したベンチ10台は、今後、校内でウレタン樹脂を塗って塗装された後、今月の中旬に市内の早掛沼公園、海老川地区遊園地、宇田運動公園広場に設置されることとなりますので、機会がありましたら是非とも公園のベンチで寛いでいただければと思います。



むつ市立第二田名部小学校6年生のみなさんと一緒に作業をして、あっという間に終わりの時間を迎えた「ものづくりワークショップ」でしたが、今回の事業に参加した児童のみなさんは、ものを作ることの楽しさや奥深さ、良いものを作るためには工夫を重ねることの大切さを体験することができたと思います。これからの時代を担っていく小学生のみなさんが「ものづくり」について興味・関心を持ち、工作体験を通して感動したり驚いたりしながら「なぜ?」「どうして?」と考えを深めることはたいへん意味のあることです。最近では大工のなり手が減っているので、このようなものづくりの体験を通じて、児童のみなさんの中から、将来、私たちと共に青森県内のモノづくりを支える仲間として活躍してくれる人材が出てくることを期待したいと思います。